



あと一步の向上に向けた取組

函館市立中部小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- ①学習の約束の徹底 ②読書習慣の確立 ③朝学習の工夫 ④校内研修での取組
⑤標準学力（CRT）検査・知能検査の実施及び結果の活用と全国学力・学習状況調査の結果の活用 ⑥家庭学習の習慣化 ⑦チャレンジテストの活用

2 取組の概要

- ①全校統一の学習常規を各教室に掲示し、学習に向かう姿勢や心構えの定着を図っている。
- ②毎月第2、第4週を「朝の読書週間」とし、8：25～8：35を全校一斉の読書の時間に行っている。火、水、金曜日は職員朝会を行わず、担任が教室において指導にあたる。また、ボランティア「アリスの会」の方による読み聞かせ会（低・高ブロック）を定期的に行っている。
- ③毎月第1、第3、第5週を「チャレンジタイム週間」とし、8：25～8：35を全校一斉で朝学習の時間として取り組む。火、水、金曜日は職員朝会を行わず、担任が教室において個別の指導にあたる。主に、ドリル学習や反復学習を行う。
- ④校内研究において、児童一人一人の実態把握に努め、その上で算数的活動を意図的・計画的に取り入れた指導法の工夫や自らの考えを進んで表現する児童の育成を図りながら学力向上に努めている。
- ⑤これらの学力向上プランの成果を検証する手段として、また児童の学力面における実態を把握するために、毎年3学期に継続して標準学力検査（2・4年）と知能検査（1・4年）を実施している。また、6年生は、全国学力・学習状況調査も実施し、結果の活用を図っている。
- ⑥日常における学習指導や学習状況調査の結果から、家庭における学習習慣に課題があり、低・高学年用の「家庭学習の手引き」を作成し、配付した。学校での授業と家庭での学習をつなげ、基礎的・基本的学習内容が子供たちに定着するよう指導している。
- ⑦チャレンジテストを朝学習や家庭学習等で活用しながら基礎・基本の定着を図っている。

3 成果（○）と課題（●）

- 指導法を工夫する教師の授業力を高めたり、学習の補充をしたりすることにより、子供の学習に向かう姿勢が向上し、基礎的・基本的な学習内容の定着がやや上向き傾向となってきている。また、CRT学力検査や全国学力・学習状況調査の結果からも成果が見え始めてきている。
- 学力は着実に向上してきているが、まだ十分とは言えない。より一層授業改善努め、保護者との連携を深めながら家庭学習の習慣を確立していく必要がある。